

# 平成27年度取組状況

ものづくり工学科 医療福祉工学コース 教授 三林 洋介

取組状況	
教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>医療福祉実験実習Ⅲの実習内容の開発に3Dプリンター活用を試験的に実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>人間工学的マウスの製作実習においてこれまで実施していた発泡剤を用いたモックアップ製作をCADと3Dプリンターを活用して製作することを試験的に試みた。出力時間の問題点などを解決したうえで本格実施に向けて開発を継続する予定である。</li> </ul> </li> <li>専攻科人間工学特論の教材開発           <ul style="list-style-type: none"> <li>授業進行はシラバスに従って進める一方で、厚生労働省諮問機関主催の福祉機器コンテスト応募作品製作を参加希望学生を対象として併設実施した。入賞作品に入るには及ばなかったものの最終選考に残ったことは次年度に繋がる取り組みとなった。</li> </ul> </li> <li>卒業研究、特別研究の取組検討と開発           <ul style="list-style-type: none"> <li>本科および専攻科学生の実施研究テーマについて、外部機関(企業、大学研究機関)等との共同研究形式を取り入れることで学生の取り組みモチベーション向上を図ることが出来た。また、学生への積極的学会発表を推奨することで専攻科学生は年間2回の発表、本科学生は1回の発表経験をもたせるよう取り組んだ。</li> </ul> </li> </ol>
研究	<ol style="list-style-type: none"> <li>著書(テキスト)を執筆(単著)(1件)           <ul style="list-style-type: none"> <li>医療過誤防止と人間工学、公益社団法人日本包装技術協会(2016.1)</li> </ul> </li> <li>紀要・報告書の編纂、発行(2件)           <ul style="list-style-type: none"> <li>運転者の体調変化による事故発生状況の実態調査と交通事故死低減に向けた効率的予防対策の提言(損害保険協会自賠責運用益拠出授業)</li> <li>高速道路での居眠り運転防止に向けた効果的な対策に関する調査研究(公益財団法人高速道路調査会、道路・交通工学研究部会)</li> </ul> </li> <li>学会発表(8件)           <ul style="list-style-type: none"> <li>通話携帯の相違がパフォーマンスに及ぼす影響(第51回日本交通科学学会総会学術講演会(2015.6))</li> <li>VSAT遠隔画像伝送におけるサムネイル画像を用いた安否確認手法(第51回日本交通科学学会総会・学術講演会)</li> <li>歩きスマホが反応時間および歩行動作に及ぼす影響(日本人間工学会第56回大会(2015.6))</li> <li>歩行中の携帯電話使用に関する基礎的研究(日本人間工学会関東支部大会(2015.12))</li> <li>災害時被災外支援のためのサムネイル画像を用いた検出時間とクリック回数による初期値について(日本人間工学会関東支部大会(2015.12))</li> <li>鉄道車両のフリースペースを活用した腰掛けの人間工学的開発(日本人間工学会関東支部大会(2015.12))</li> <li>一般用医薬品添付文書の理解度向上に関する研究(日本人間工学会関東支部大会(2015.12))</li> <li>垂直接線持辛器開発のための基礎的研究(日本人間工学会関東支部大会(2015.12))</li> </ul> </li> </ol>
社会貢献	<ol style="list-style-type: none"> <li>日本人間工学会理事</li> <li>日本人間工学会関東支部副支部長</li> <li>人間工学専門家機構幹事</li> <li>日本交通科学学会理事、編集委員会委員長、イベント企画委員会委員</li> <li>全日本教習所協会連合会理事、学科教習大会審査委員長</li> <li>日本臨床生理学会評議員</li> <li>品川区産業連携事業への参画(企業の製品開発テーマへの協力)</li> <li>出前授業の実施「人間の不思議」(平成28年2月13日、於荒川区立第三中学校)</li> </ol>